



# 出町ゆかりだより

日本共産党  
高槻市議員

発行：日本共産党高槻市議員団 出町ゆかり  
連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.161 2026年7月

## — 6月議会 — — 一般質問 —

6月議会が終わりまりました。わたしがした一般質問の概要を紹介します。

### 最高裁が「違法」と認め た生活保護費引き下げ

生活保護費引下げについての裁判は10年もかかり、まさに「いのちのとりで」裁判と言われています。

国は2013年8月から3回に分けて、生活扶助基準（生活保護基準の生活費部分）を平均6.5%、最大10%（年間削減額670億円）史上最大の削減をしました。これに対し、全国で1万371世帯が不服

審査請求をし、29都道府県で1027人の原告が31の訴訟を提起しました。最高裁、5人の裁判官全員がこの国のやり方を「違法」とする統一判断を示しました。

判決後、厚労省は当時の受給者に対し、差額をさかのぼって給付するという方針を出しました。

### 大きな問題点

違法とされた減額は（マイナス4.78%）だったのに、国は別の計算式を用いて再減額（マイナス2.49%）を設定しました。これにより本来給付されるべき金額が削られま

した。このことは「最低限度の生活の需要を満たすことができない状態を9年以上にわたリ強いられてきた、長きにわたる原告らへの配慮を著しく欠く、きわめて冷淡な対応である」と反対意見も述べられています。

また、原告と非原告にも給付の格差を設けました。

### 広がる審査請求

この決定に対して5月13日、大阪の原告20人が保障を減額分の半分にした政府決定は違法・不法だとして全国初の審査請求を大阪府に行いました。6月13日現在、神奈川県、愛知県、青森県と増えています。

### 市の受け止めは

「生活保護は法定受託事務であり、国において判決の趣旨や制度全体への影響を総合的に勘案し、対応を整理されたものと理解している」と国のやり方を認める答弁をしました。

しかし、困っているのは高槻市民です。国の違法に対してきちんと声をあげるべきです。

### 保護費だけではない、 他の制度へも連動

生活保護基準は就学援助や非課税世帯、介護保険制度など47の制度に連動しています。

この時、引き下げがなければ受けられてい

た就学援助を受けられなかった人が約100人いました。

わたしは、これらの人にたいしての対応を聞きましたが市は「特段の対応はしない」ということでした。

### 高槻市の追加給 付の支給状況は

高槻市の対象世帯は約8,100世帯、原告2世帯、原告以外で保護受給中は4,300世帯、保護廃止世帯は約3,800世帯、中国残留邦人約20世帯です。市は保護廃止世帯以外はすでに追加給付をはじめていません。しかし、当時保護を受けていて今は受けていない世帯は申請しないと給付されません。



### わたし、出町の意見

今回の追加給付は国の違法な基準引き下げによって、本来受け取るべきであった生活費を受け取れなかったものです。保護廃止世帯のなかには知らずに申請しない人もいます。データがあるので何らかの方法で伝えるべきだと要望しました。

今回なぜ、こういうことが起こったのか、やはりそれは生活保護が誰も受ける可能性があるというセフティーネットであり、権利であるということが国においてもなかったのではと思います。日本共産党は生活保護ではなく、生活保障と変え、必要な人にはだれでも受けることができるようにと訴えています。

# 高校生の保護者負担の軽減について

この質問をしようと思ったのは、今年公立高校に入学した子どもの保護者の声です。「授業料は無償だが、最初の必要物品だけで、すでに15万円以上かかっている。部活については学校側からかなり強くなにかに入るように言われている。それならば最初の見学期間に入る段階で、各部の部費や必要経費などに関する目安を明記して配布してほしい。それをふまえたうえで、本人がしたいことと保護者ができることのバランスを考えて選ぶような仕組みが必要だ」と言



## 高校生になると「就学援助」はなくなる

高槻市の中学3年生で就学援助を受けている生徒は2023年度366人、2024年度305人です。支援学級の生徒は2023年度96人、2024年度88人です。翌年にはこの人たちが高校1年生になります。授業料は無償ですがそれ

以外では経費がかかります。中学校も授業料は無償で、給食費も無償です。しかし、高校生になったとたん、授業料以外の経費が親にかかってきます。高校進学後の支援について聞きました。

## 市の支援制度

市の支援制度を聞くと「コロナ禍や物価高騰への対応として、高校生を対象にした米の配布を3回している。医療費は18歳まで無償になりました。その他に国の制度で授業料以外に『高校生等奨学援助金』がありますが、高校を通じて申し込むこととなります。また、

## 市の奨学金制度の問題点

高槻市の高校生奨学金は国公立、月額7,000円、私立、月額10,000円の無利子貸付です。この奨学金を受けている高校生は2023年度20人、2024年度16人しかいません。この人数は3年生までなので1学年にすると数人になります。就学援助を受けている3年生と

市では修学の希望があるにもかかわらず、経済的理由のために奨学金の貸し付けを行っていない」ことでした。

比べるとはるかに少ないです。

額の少なさと、貸付制度が問題です。高校生で、奨学金を借り、大学でも奨学金を借りると、大学卒業と同時に高校の奨学金も合わせて返済しなければなりません。今他市では独自の給付型の奨学金を実施しているところが増えています。

※高槻市でもお米の配布の継続、通学費などの補助、給付型の奨学金の実施を要望しました。

